

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(平成 29 年 1 月解析分)

1 今月のトピックス

警報発令中!!

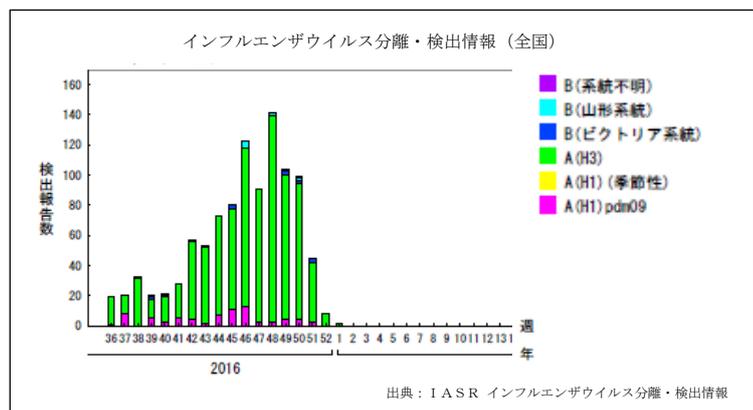
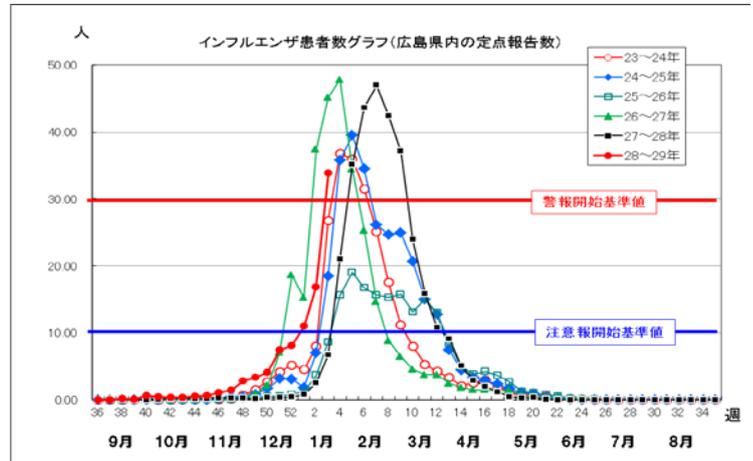
■ インフルエンザの流行状況について

平成 29 年第 3 週(1 月 16 日から 1 月 22 日)の定点医療機関からの報告患者数が、西部東、東部、北部、広島市および福山市保健所管内で国立感染症研究所が示している警報開始基準値(定点当たり 30)を上回りました。

今後さらに流行が拡大する可能性があるため、平成 29 年 1 月 25 日(水)、県内に「インフルエンザ警報」を発令しました。昨シーズンより 1 週早い発令となります(昨シーズン:平成 28 年 2 月 3 日)。

なお、県内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、今シーズンは A H 3 亜型の検出割合が最も多く、全国と同じ傾向を示しています。

A H 3 亜型は、特に高齢者で重症化しやすい傾向があると言われていています。健康被害を受けやすい高齢者施設等では、次の点を参考に、引き続き感染予防、感染拡大防止の徹底をお願いします。



インフルエンザを予防するための注意点

- こまめに、流水と石けんで“手洗い”を励行しましょう。
- 室内は、加湿器などを使って、適度な湿度(50%~60%)を保ちましょう。
- 人が集まる場所への外出は避け、出かけるときは、マスクを着用しましょう。
- インフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
- 咳エチケットを守りましょう。
 - ・咳・くしゃみの症状がある場合は、マスクを着用する。
 - ・咳・くしゃみの際には、ハンカチなどで口や鼻を覆い、周りの人から顔をそむける。
 - ・鼻汁・痰などを含むティッシュなどは、すぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。



■ 「人権フォーラム 2017 in 広島 演劇 光りの扉を開けて」の開催について

ハンセン病やエイズについて、踊りや歌、演劇を通して学び、差別や偏見を乗り越えすべての人が「共に生きる」ための、より良い社会づくりに貢献することを目的として、「人権フォーラム 2017 in 広島 演劇 光りの扉を開けて」を開催します。是非、御来場ください。

【日 時】平成 29 年 2 月 5 日(日) 14 時~16 時 30 分(予定)

【場 所】広島市青少年センター(広島市中区基町 5-61)

【その他】入場料無料、事前申込み不要



広島県 人権フォーラム 2017

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成28年12月分(平成28年12月5日～平成29年1月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	2,640	5.74	2.65	↑	11	ヘルパンギーナ	22	0.08	0.03	↓
2	RSウイルス感染症	241	0.84	1.61	↓	12	流行性耳下腺炎	126	0.44	0.50	↓
3	咽頭結膜熱	159	0.55	0.74	↗	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	476	1.65	2.06	→	14	流行性角結膜炎	53	0.70	0.81	↓
5	感染性胃腸炎	3,073	10.67	12.26	↓	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
6	水痘	133	0.46	1.67	↓	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	122	0.42	0.42	↓	17	マイコプラズマ肺炎	54	0.64	0.37	↗
8	伝染性紅斑	53	0.18	0.29	↓	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	91	0.32	0.43	↗	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	—	
10	百日咳	5	0.02	0.03							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成28年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	42	1.83	2.02	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	91	4.33	4.30	↗
21	性器ヘルペスウイルス感染症	25	1.09	0.67	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.19	0.85	↓
22	尖圭コンジローマ	16	0.70	0.58	↑	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.04	
23	淋菌感染症	16	0.70	0.89	↓						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 **インフルエンザ** (1.49 → 5.74)
尖圭コンジローマ (0.30 → 0.70)
- 急減疾患 **流行性角結膜炎** (1.42 → 0.70)
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (0.52 → 0.19)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	46	結核(46)〔西部保健所(7), 東部保健所(8), 広島市保健所(20), 呉市保健所(5), 福山市保健所(6)]
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症(1)〔福山市保健所(1)]
四類	17	オウム病(1)〔広島市保健所(1)], つつが虫病(15)〔西部保健所(5), 広島市保健所(7), 福山市保健所(3)], レジオネラ症(1)〔西部保健所(1)]
五類全数	18	アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)], ウイルス性肝炎(E型, A型を除く)(1)〔西部保健所(1)], カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)〔西部東保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(1)], 急性脳炎(2)〔広島市保健所(2)], 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)], 侵襲性インフルエンザ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)], 侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔東部保健所(1), 広島市保健所(1)], 梅毒(6)〔西部東保健所(1), 広島市保健所(5)], 麻しん(1)〔福山市保健所(1)]